

青牛式トレードマスター講座

青牛式ピラミッティング

まず、はじめに質問です。

あなたにとって、負えるだけの限界のリスクを背負ってでもフルベットできるシチュエーションはどういうものなのかを簡潔明瞭にかつ具体的に言語化できますか？

この質問にすぐに答えられない場合は、まだピラミッティングに手を出す段階ではないでしょう。

そういえば、講座がスタートした瞬間に DM で「ピラミッティングのコンテンツがありませんが・・・」というご意見を頂いた時には、正直、閉口してしまったのですが、もうこの時点では全てのメンバーの方は「何が最も重要か」を十分理解しているかと思いますのであえてお伝えしますが、

「ピラミッティング単体では大した優位性はありません。」

ピラミッティングをやってもいい環境なのかを判断できるかが最も重要であ
って、「段取り八分」とはよく言ったものですが、相場と向き合うことも全く
同じで、個人的にはむしろ「**環境認識 9 割**」とさえ思っています。

これは警告に等しいですが、ピラミッティングができれば楽勝で資金を増や
せるなどと安易に考えているようであれば、間違いなく、そして確実に相場か
ら残酷な現実を突きつけられるでしょう。

それでは、本題に入っていきます。

私のトレードスタイルの特徴の一つであるピラミッティングですが、誰かに
教わったものでもなく完全オリジナルのため、これをピラミッティングと表現
していいものなのか正直、未だに分かりません。

そして、実際にやっていること自体も難しいことなど一切なく、マルチタイ
ムフレーム分析によって導き出した結果に対して確度がある時は積極的にポジ
ションを積み増していくという「だけ」です。

青牛式トレードマスター講座

なので、ピラミッティングで最も大切なことは「いつ積むのか」ではなく、
「**積むべき環境かどうか**」だと考えています。

そして、幾度となく触れてきていますが、青牛式ピラミッティングを全開で
やるのであれば証券会社は間違いなく iFOREX にするべきです。

というか、そうでなければ一旦の調整でことごとく強制ロスカットに遭うこ
とになり、環境認識は適切であったにも関わらず強制ロスカットによってポジ
ションをホールドすることができず、その後、思惑の方向にドンドンと伸びて
いる状況をただ指を咥えて見ているだけという非常に悔しい思いをするハメに
なります。

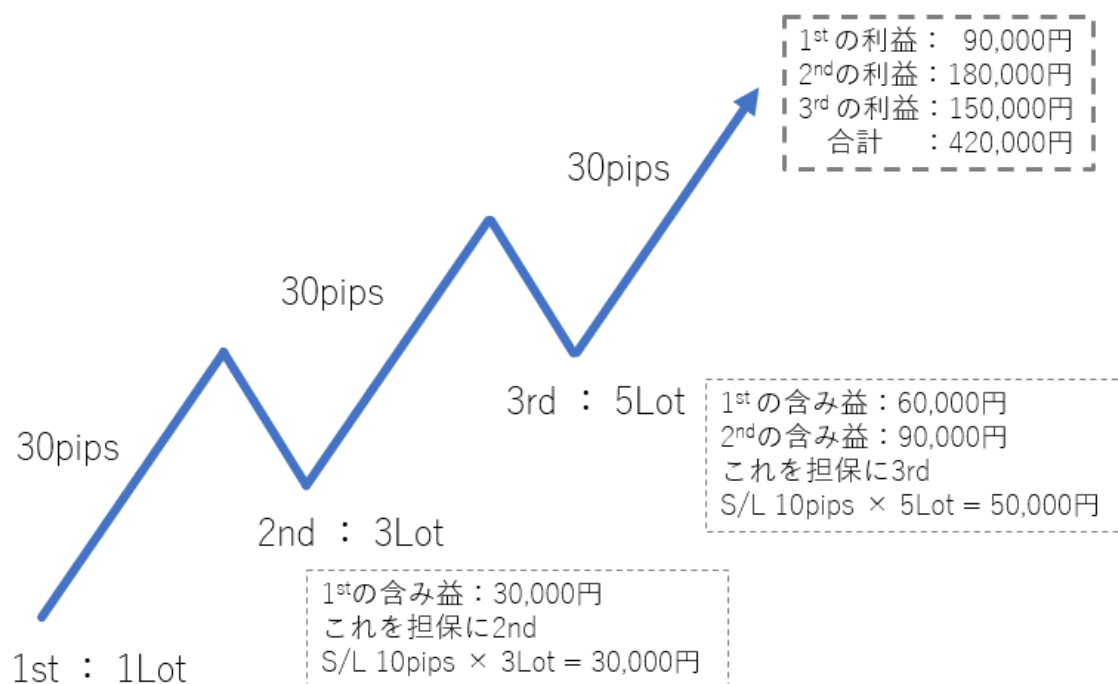
当講座に参加する際の約束として、iFOREX での口座開設とその口座での取
引を条件として敷きましたが、これは現実問題として青牛式ピラミッティング
のためにはそれが必要不可欠なツールであり、何よりも私自身が iFOREX のみ
を使っていることが動かしようのない証拠です。

青牛式トレードマスター講座

ですから、今後、仮に iFOREX 以外の口座を使っている方がいる場合、そもそもの前提条件が違いため、「一旦の調整でロスカットにあってしまいます」などという意味不明な質問は謹んでください。

繰り返しますが、少額からピラミティングで爆発的に増やすには **iFOREX** のロスカット 0% という条件は絶対的なものです。

まず、ピラミティングの基本的な考え方をみてください。



※分かりやすいように押し目の調整幅の金額は簡略しています。

青牛式トレードマスター講座

それでは、具体的な方法について解説していきます。

まず私は、ピラミッティングを2つのタイプにして使い分けています。

TYPE : A . . . ノーマル

TYPE : B . . . アグレッシブ

※採用する時間足は人それぞれだと思いますので、どの時間足でピラミッティングをしていくのかは各自で判断してください。

TYPE : A ノーマル

これは、俗にいう押し目に合わせて積み増していく方法です。

相場環境への確度は平均的なレベルであっても、一旦の上昇への優位性に乗じて積んでいくという考え方です。



押し目の場面でそこまで無理のないポジションサイズで積んでいきます。

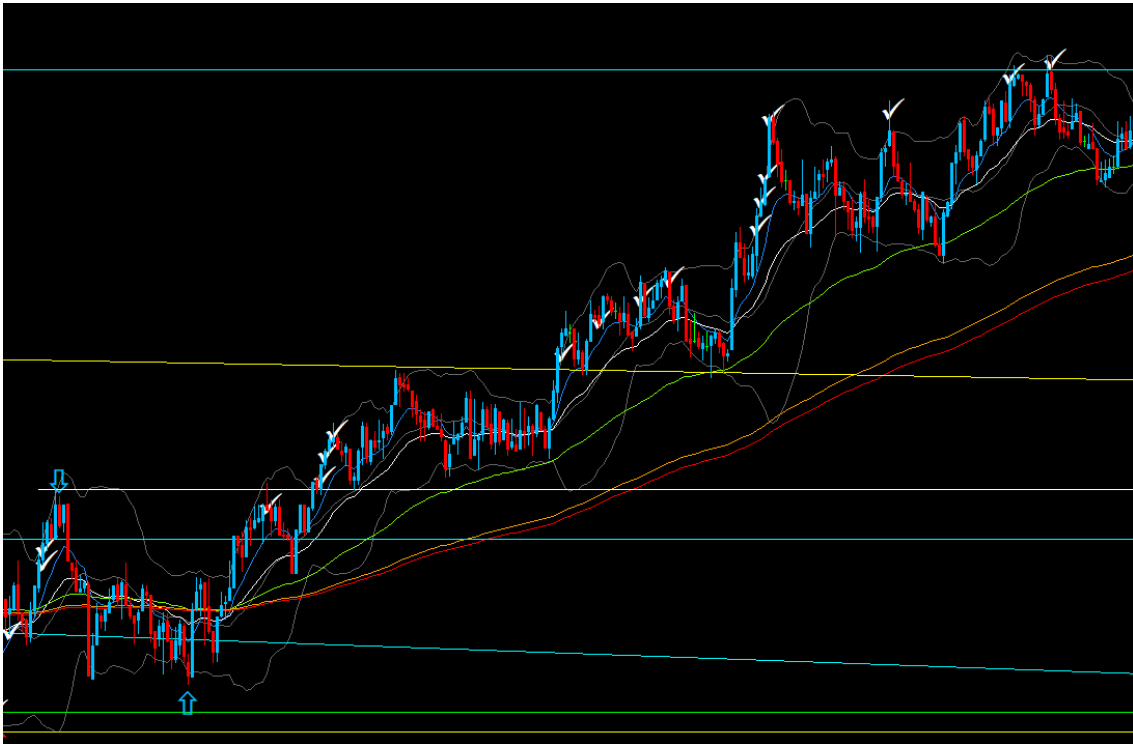
中長期的にポジションを保有する場合に適していますが、デイトレでその日の値幅を目一杯狙うような時にも有効に使うことができます。

TYPE : B アグレッシブ

簡潔に表現すると、鉄板パターンというセットアップで、なおかつ環境条件
も追い風に働きそうだという場面で行う方法。

青牛式トレードマスター講座

資金量に対して常に目一杯のポジションをとっていくため、価格がブレイクしていくタイミングに合わせて、その時点で張れる最大のロットサイズで積極的に買い増していきます。



ただし、そこまでフルレバでポジションを持つということは、ロスカット水準 0%の iFOREX であったとしても調整の深さによっては強制ロスカットに遭うこともあるため、各自で相場環境などによってポジションサイズは調整するようにしてください。

青牛式トレードマスター講座

また、具体的なピラミッティングのタイミングについては、「いつ積むかはそれほど重要ではない」と前述したとおり、私自身そこまで強いこだわりはないのですが、目安としていることは次の2つです。

〈ピラミッティングのタイミング①〉主に TYPE : A

M1 の 10・25EMA 反発を狙った短期トレンドフォロー

→ 10・25EMA アプローチ場面で買っていきます。

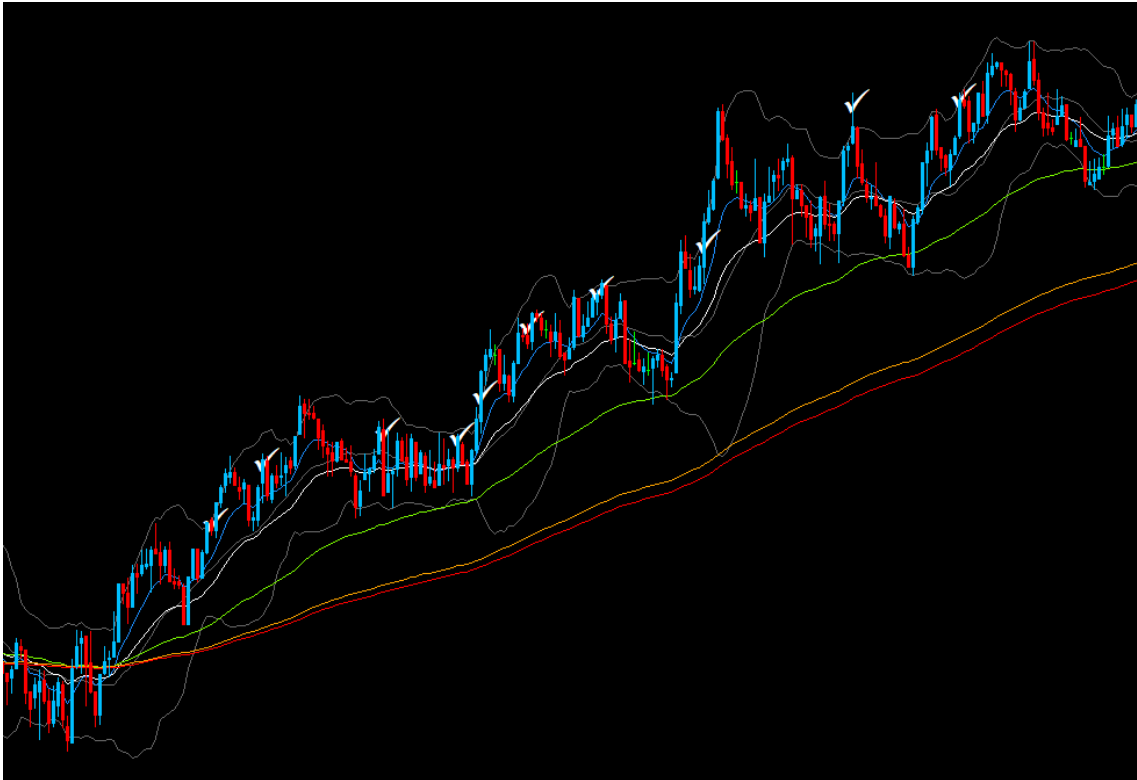


〈ピラミッティングのタイミング②〉 主に TYPE : B

高値 2 回目のアプローチ場面

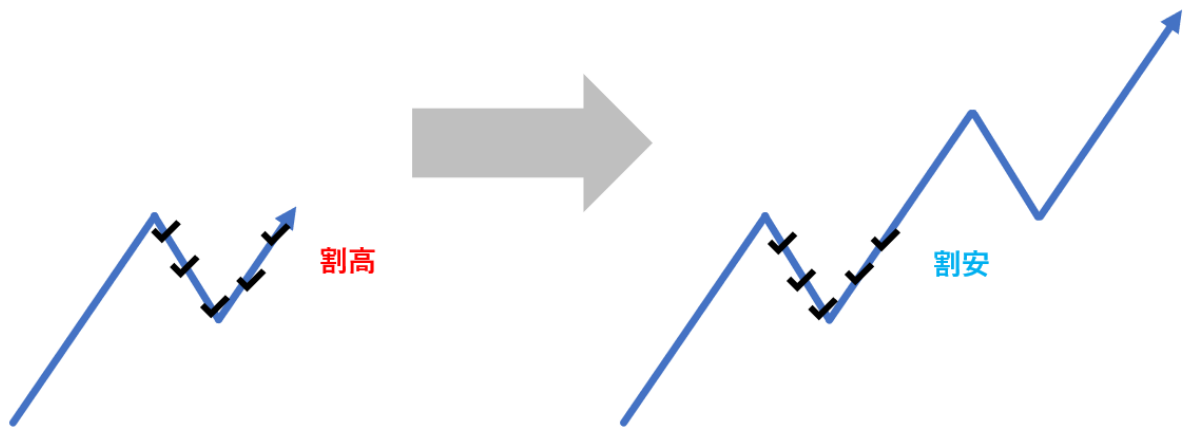
→ 1 回目の高値形成時点では、そもそもその価格が高値になるかは判断できないため、安易に買い続けると高値掴みとなってしまうリスクがあります。

なので、高値形成を確認してから、その高値への次のアプローチ場面でブレイクを期待して買っていくという方法です。



青牛式トレードマスター講座

そして、これはピラミッティングをする上で理解しておくべき非常に重要な考え方なのですが、**そのレートでポジションを持つという行為の本質は、将来的な価格上昇を見越して、今現在のレートの潜在的な価値に資金を投入していくということです**よね。



つまり、その時点では一見無謀なポジションサイズであっても、後々、価格が上昇していくことによって、そのレートで買うことに価値があるからベットしていくということです。

青牛式トレードマスター講座

さらにそこからブレイクイーブン覚悟でいくのであれば、価格が上昇するとに常に積み増していくという超アグレッシブな方法もありますが、この方法を採用する場合にはある程度、短期決済を見越しておく必要があります。

その理由は、一旦の調整で刈られるリスクがより一層高くなるため、その折り合いをつけるためですね。

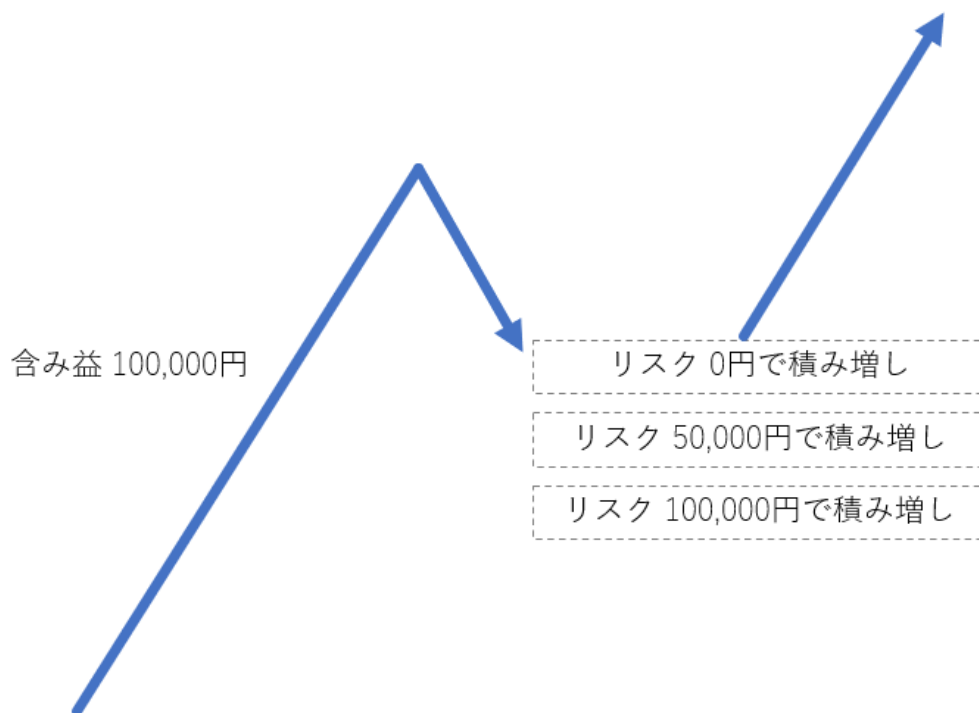
いずれにしても、最終的には自分自身が正常なメンタル状態で背負えるリスク度合いとの天秤にかけるだけの話です。

そして、無理してポジションを積み増すことがピラミッシングではなく、そのトレードに対して「**自分が責任を持てるリスクの範囲で積み増していく**」ことが**技術としてのピラミッシング**であるということをしっかりと理解してください。

次に、戦略的ポジション管理の方法について説明します。

青牛式トレードマスター講座

マルチタイムフレーム分析によって確度が高い場面でエントリーすることができれば、リスクリワードを常に優位な方向に移動しながらピラミッティングしていくことが可能になります。



仕掛け時はリスクリワード 1 : 5 であったポジションを、思惑の方向に巡行する度に積み増し、なおかつストップ位置をポジションサイズに応じて調整することで、

「このトレードはリスクゼロでいきたいのか」

「多少のリスクを負ってでも、積極的に買い増していきたいのか」

青牛式トレードマスター講座

という判断の余地を残すことができるのです。

過去にツイートしている分だけでもそれなりの数を確認できるように、私はこの方法で初期のリスクリワード 1：5 程度であったトレードを最終決済の時点では 1：20 以上にするということをよくやっています。

※巡行に応じたリスクリワードの調整については、過去のライブで詳しい内容を解説していますので、そちらを参考にしてください。

また、ピラミッティングとマルチタイムフレーム分析によって生み出される優位性は、「ある程度」の確度を持ってトレードに臨むことができるため、「増える時は爆発的に増やせる」し、「ダメでも最悪ブレイクイーブン」を自分で選択できるということにあります。

たとえ乗るか反るかの瀬戸際であったとしても、**最悪でも無傷。**

これを実現できる優位性は投機的に立ち振る舞うトレーダーとしては、計り知れないものだと考えています。

青牛式トレードマスター講座

いずれにしても、FXによって資金を増やすという選択をする以上、いかにレバレッジをフル活用できるのかという試行錯誤は必然であると思います。

これまで説明してきた内容は、あくまで利殖の一例でしかないので、あなた自身のオーダーメイドに向けたヒントになれば幸いです。

最後に、冒頭での文を今一度繰り返します。

あなたにとって、負えるだけの限界のリスクを背負ってでもフルベットできるシチュエーションはどういうものなのかを簡潔明瞭にかつ具体的に言語化できますか？

この答えの先に、ピラミッティングとの調和があります。

ありがとうございました。

あをうし